

わかやまをつくり守っています。

わかやまの建設

道路やトンネル、ダム、橋などを作り、災害をふせぐ「土木の仕事」と、工場やマンション、大型スーパーなどをつくる「建築の仕事」。わたしたちの安全で便利なくらしを支えているこの2つの仕事をあわせて「建設の仕事」といいます。いつも歩く道、わたる橋、海や川の水をせき止めるダムや堤防、学校や図書館・病院など、あたり前のようにあるものばかりだけど、実は全部「建設」の力でできているんです。

第8回

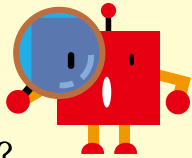
みんなが学べる 高野山学びの杜

9月、高野町にこども園と小学校、中学校や図書館が一緒になった「高野山学びの杜」ができました。おくのこども園から真ん中の小学校、手前の中学校や公民館まで、木造から少しずつ金属が入った鉄筋コンクリート造へと変化しています。また3つの建物はつながって行き来が可能。子どもから大人まで町民みんなが交流して学べる場所になっています。



屋内には高野組子を模した天井や、昔から高野町で育つ6つの木「高野六木(りくはく)」を家具や部屋の案内版があり、建物を通して町の歴史や文化を学ぶことができます。

こんなこと知ってる!?



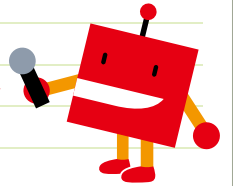
土や石に見えるアスファルト!?

高野山学びの杜のエントランスは、一見すると石タイル。でも、実はこれ、アスファルトなんです。冬の寒さが厳しく、朝晩は氷点下にもなる高野山。石やレンガを敷くと、底に入った水が凍りレンガや石を持ち上げて地面がデコボコになることも。そこで、今回行ったのはアスファルトにペンキをふき付けて模様を描く「ストリートプリント」。見た目には石の風合いがありながら、寒さに負けない丈夫な舗装になりました!



◀カナダで開発された「ストリートプリント」。土に見えるところもアスファルト! 仕上がったアスファルトに熱を加えて型でマス目を入れてペンキで着色! この工法を取り入れることで工事のスケジュールも半分以上に。

この人に聞きました!



頭と体を使って、みんなに使ってもらえるものを作る。いい仕事だと思います!

やまもと たかし
山本 貴士さん
橋本市立学文路小学校卒

「自分の作った場所をGoogleで見られることも」

現場監督もしますし、作業員としてもものを運ぶこともあれば作業車に乗ることも。日々いろんなことをしています。そうやって完成したものがGoogleMAPにあることもあるってうれしいですね。それに、日々自分たちの作業で景色が変わっていくのを感じるし、ぼくらが通った後は絶対きれいになるんです。それは、この仕事の誇りです。

プレゼントコーナー

和歌山県建設業協会さんから
建設学習帳をプレゼント。

担任の先生にお願いして、クラス全員の数で申しこんでもらってください。
(ご担任の先生、よろしくお願ひいたします。)
※部数に限りがありますので、お申込多数の場合は先着順とさせていただきます。



【申込方法】
「学校名・クラス名・冊数、住所」をファックスください。
Fax.073-446-8881
白光印刷株式会社まで。

新しくなって、さらに安心・納得! 社員と家族、会社を守る為に。 建設共済保険

法定外労災補償制度

割戻金の支払いが始まっています。

公益財団法人 建設業福祉共済団

今すぐ、ご加入を!

手厚い補償
保険金区分合計
最高5,000万円

契約者
割戻金制度
により
掛金負担が軽減

労働者と企業の
リスクを
カバー



一般社団法人和歌山県建設業協会は
「わかやま探検ミュージアム」を応援しています。

一般社団法人 和歌山県建設業協会

〒640-8262 和歌山市湊通北1丁目1-8
和歌山県建設会館 1F

True Construction Works 知ってほしい、本当の建設業を!

